

2019年度 がん対策推進総合研究事業
研究課題名：小児がん患者における在宅医療の質の向上を目指した研究
(19EA1201)

『小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究』

研究代表者
大隅 朋生

(国立成育医療研究センター)

予定研究期間：2019-2020年度

めざす目標

小児がんとともに生きることと家族に療養場所の選択肢が公正に提示される

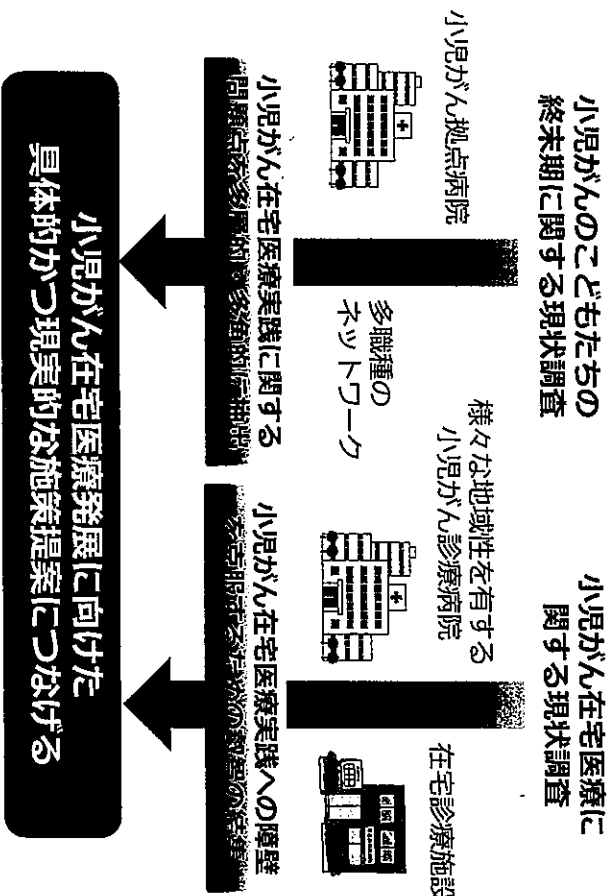
終末期のごともと家族



求められる成果 (要点)

- 小児がん患者及びその家族を対象に、在宅医療の希望や在宅医療について知りたい情報等の調査を行い、患者や家族側から見た在宅医療実施のための課題を把握する。
- 小児がん拠点病院等に勤務する医療従事者等の抱える在宅医療実施に係る悩み等を把握し、医療従事者側から見た在宅医療実施のための課題を把握する。
- 小児がんの在宅医療における地域に展開可能な好事例を収集する。
- 上記を踏まえ、把握された課題について、地域に展開可能な解決策を検討する。

最初に提示した研究全体図



班研究のこれまで

令和元年10月18日（金）第1回班会議

- 研究分担施設からの現状共有 → 課題の抽出
- 班研究の方向性に関する討議

令和2年1月17日（金）第2回班会議

- 分担施設から好事例共有（6施設）
- 得られた課題に対する分担研究のキックオフ

分担研究

小児がん終末期医療に関する現状調査

- 終末期の現状調査（大隅、岡本、湯坐、余谷）
- 在宅移行の障壁アンケート（大隅、長、横須賀、余谷）

小児がん在宅医療に関する課題および調査

- 在宅輸血（岩本、西川）
- 社会資源の情報共有（荒川）
- 病院・家以外の療養場所（倉田、古賀）
- 遺族調査（余谷班との共同研究）
- 遺族インタビュー（前田、星野、紅谷）

班研究としての成果物について

・調査研究が完了すれば「学会発表」や「論文」として成果が公表可能となる

・小児がん在宅医療のブックレット？

医療者向け？

患者・家族向け？

このWeb会議の最後にもう一度ご討議お願いします

2019年度 がん対策推進総合研究事業

研究課題名：小児がん患者における在宅医療の質の向上を目指した研究
(19EA1201)

『小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究』

研究代表者

大隅 朋生

(国立成育医療研究センター)

予定研究期間：2019-2020年度

求められる成果（要点）

- ・小児がん患者及びその家族を対象に、在宅医療の希望や在宅医療について知りたい情報等の調査を行い、患者や家族側から見た在宅医療実施のための課題を把握する。
- ・小児がん拠点病院等に勤務する医療従事者等の抱える在宅医療実施に係る悩み等を把握し、医療従事者側から見た在宅医療実施のための課題を把握する。
- ・小児がんの在宅医療における地域に展開可能な好事例を収集する。
- ・上記を踏まえ、把握された課題について、地域に展開可能な解決策を検討する。

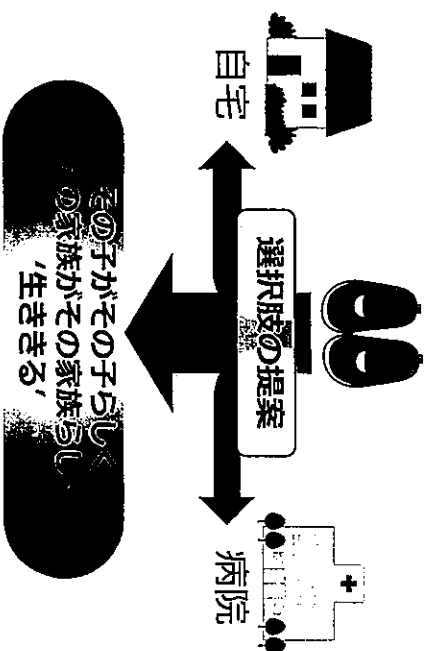
2020/10/2

令和2年度 大規模会議 (ZOOM)

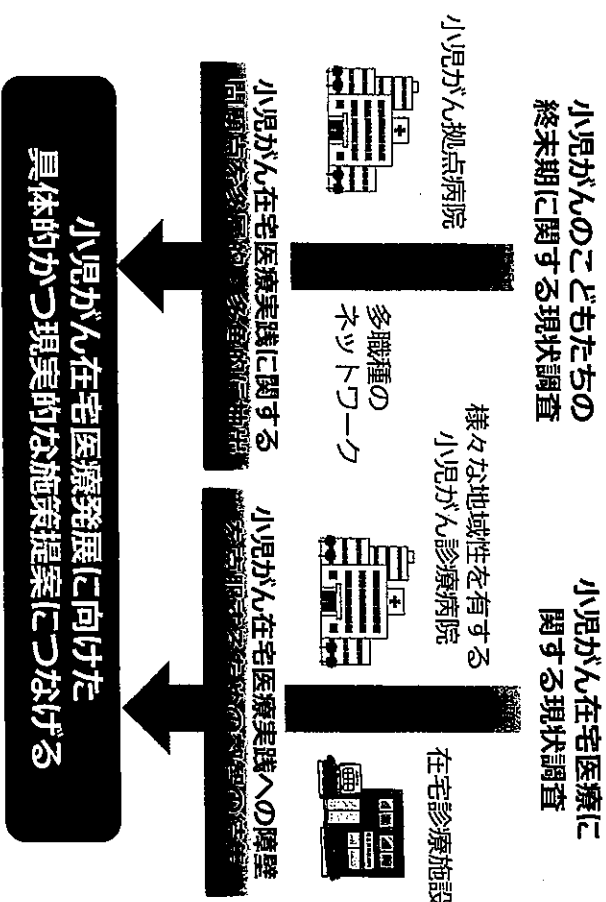
めざす目標

小児がんとともに生きることと家族に療養場所の選択肢が公正に提示される

終末期のごとと家族



最初に提示した研究全体図



班研究のこれまで

- ✓令和元年10月18日（金） 令和元年度 第1回班会議
 - 研究分担施設からの現状共有 → 課題の抽出
 - 班研究の方向性に関する討議
- ✓令和2年11月17日（金） 令和元年度 第2回班会議
 - 分担施設からの好事例共有（6施設）
 - 得られた課題に対する分担研究のキックオフ
- ✓令和2年6月5日（金） 令和2年度 第1回班会議（Web）
 - 分担研究の進捗状況の共有

2020/10/2

令和2年度 大規模会議 (ZOOM)

分担研究 および 課題

小児がん終末期医療に関する現状調査

- 終末期の現状調査 (大隅、岡本、湯坐、余谷)
- 在宅移行の障壁アンケート (大隅、長、横須賀、余谷)

小児がん在宅医療に関する課題および調査

- 在宅輸血 (岩本、西川)
- 社会資源の情報共有 (荒川)
- 病院・家以外の療養場所 (倉田、古賀)
- 遺族インタビュー (前田、星野、紅谷)
- 多職種連携 (多田羅)
- 遺族調査 (余谷班との共同研究)

2020/10/2

令和2年度 大隅地区会議 (ZOOM)

求められる成果 (要点)

- ・小児がん患者及びその家族を対象に、在宅医療の希望や在宅医療について知りたい情報等の調査を行い、患者や家族側から見た在宅医療実施のための課題を把握する。
- ・小児がん拠点病院等に勤務する医療従事者等の抱える在宅医療実施に係る悩み等を把握し、医療従事者側から見た在宅医療実施のための課題を把握する。
- ・小児がんの在宅医療における地域に展開可能な好事例を収集する。
- ・上記を踏まえ、把握された課題について、地域に展開可能な解決策を検討する。

2020/10/2

令和2年度 大隅地区会議 (ZOOM)

好事例の共有

鹿児島大学の経験

鹿児島大学小児科
岡本直樹
2020/1/17 大隅地区

オンラインホームケアクリニックにおける
小児在宅医療と小児がん診療

鹿児島大学小児科
2020.1.17
大隅地区

九州大学病院 小児がん在宅移行の取り組み

九州大学養育小児科 古賀高紀
九州大学医学研究所院 塚田裕子



九州大学小児科
2020/1/17 大隅地区

2020年11月13日 (金) 7:30開

昼前の時間を在宅で過ごすことを選んだ
高校生の一例
～事後告知前後の集まりに焦点を当てて～

○前川 悠那、佐々木 潤也、石川 結子、松田 麗華、杉野 彩風、
清水 聖子、村崎 一歩、松山 中帆、長尾 麻衣子
名古屋大学理学部附属病院

1年間の課題整理と研究準備の先に

大隅地区研究をまとめること

今年度で終了することについて

2019年度 がん対策推進総合研究事業
研究課題名：小児がん患者における在宅医療の質の向上を目指した研究
(19EA1201)

『小児がん患者に対する在宅医療の実態とあり方に関する研究』

研究代表者
大隅 朋生

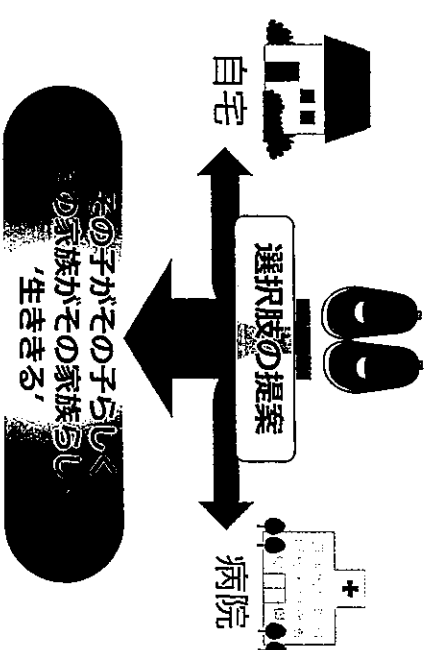
(国立成育医療研究センター)
予定研究期間：2019-2020年度

2021/1/15

令和2年度 第3回 大隅研会議 (ZOOM)

めざす目標
小児がんとともに生きることと家族に療養場所の選択肢が公正に提示される

終末期のごどもと家族



2021/1/15

求められる成果 (要点)

- 小児がん患者及びその家族を対象に、在宅医療の希望や在宅医療について知りたい情報等の調査を行い、患者や家族側から見た在宅医療実施のための課題を把握する。
- 小児がん拠点病院等に勤務する医療従事者等の抱える在宅医療実施に係る悩み等を把握し、医療従事者側から見た在宅医療実施のための課題を把握する。
- 小児がんの在宅医療における地域に展開可能な好事例を収集する。
- 上記を踏まえ、把握された課題について、地域に展開可能な解決策を検討する。

班研究のこれまで

- ✓令和元年10月18日 (金) 令和元年度 第1回班会議
 - 研究分担施設からの現状共有 → 課題の抽出
 - 班研究の方向性に関する討議
- ✓令和2年1月17日 (金) 令和元年度 第2回班会議
 - 分担施設から好事例共有 (6施設)
 - 得られた課題に対する分担研究のキックオフ
- ✓令和2年6月5日 (金) 令和2年度 第1回班会議 (Web)
 - 分担研究の進捗状況の共有
- ✓令和2年10月2日 (金) 令和2年度 第1回班会議 (Web)
 - 分担研究の進捗状況の共有

2021/1/15

令和2年度 第3回 大隅研会議 (ZOOM)

2021/1/15

令和2年度 第3回 大隅研会議 (ZOOM)

分担研究 および 課題

小児がん終末期医療に関する現状調査

- 終末期の現状調査 (大隅、岡本、湯坐、余谷)
- 在宅移行の障壁アンケート (大隅、長、横須賀、余谷)

小児がん在宅医療に関する課題および調査

- 在宅輸血 (岩本、西川)
- 社会資源の情報共有 (荒川)
- 病院・家以外の療養場所 (倉田、古賀)
- 遺族インタビュー (前田、星野、紅谷)
- 多職種連携 (多田羅)
- 遺族調査 (余谷班との共同研究)